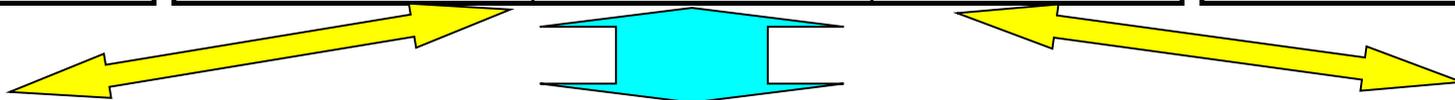


平成27年度 学力向上アクションプラン

尼崎市立 成文小 学校

*この『学力向上アクションプラン』とは、成文小学校の学力向上に係わる総合的な実施計画を示すものであり、子どもたちの学力向上に役立てるものです。

学力調査結果等から見た 学力向上についての課題	課題解決に向けた学校の取組(基礎力の定着、活用力の育成)			本年度の具体的な目標
	授業力向上への取組	学習習慣定着に向けた取組	その他の取組	
<p>○全国学力調査から見られる課題 ・基礎基本の学力(分かったつもりになっているが、学力がともわない。) ・読解力が弱い。</p> <p>○尼崎市到達度調査から見られる課題 ・全体的に学習意欲が弱い。</p> <p>○保護者アンケートから見られる課題 ・家庭学習が定着していない。</p>	<p>○講師を招聘し、授業改善に努め、授業力向上を図る。</p> <p>○近隣校の校内研究会に出向き、授業力を磨く。</p> <p>○先進校の取組内容を分析・検証し、授業力向上を図る。</p> <p>○授業を互いに見せ合い、授業力の向上を図る。</p> <p>○ひとり1授業の指導案作成・授業公開する。</p>	<p>○個に応じた学習支援を実施(3・4年対象)し、補充、発展的な学習を行う。</p> <p>○「家庭学習がんばりカード」を作成し、全校で実施する。(授業と家庭学習の接続)。</p> <p>○読書力の育成(朝の読書活動、図書ボランティアの読み聞かせ、内読)を図る。</p>	<p>○ICT機器を活用した授業を実践する。</p> <p>○毎週木曜日「チャレンジタイム」を実施し、補充的な学習を行う。</p> <p>○オープンスクールにおいて、全クラスが道徳の授業を公開する。</p> <p>○あいさつ・もくもく掃除の継続指導をする。</p> <p>○スマイルボックスの活用を図る。</p>	<p>○「算数の授業内容がよくわかる」で、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の回答割合の実績値が85%以上(前年度の5%以上)。</p> <p>○「算数の勉強が好きだ」の項目で、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の回答割合の実績値が75%以上(前年度の10%以上)。</p> <p>○学校図書の一人当たりの年間貸出数を各学年とも児童一人当たり、40冊以上(昨年度の10%以上)。</p>



校種間連携	活用する支援内容		家庭・地域との連携
	支援内容	具体的内容	
<p>○幼小中高、小小、小中合同研修会の本校実施(算数校内研究会・カウンセリングマインド研修等)</p> <p>○小小、小中の連携を図る。(互いの教員が研鑽を積むために、校内研究会の交流を図る。)</p> <p>○小高連携(本校体育大会における吹奏楽部の演奏、あいさつ指導等)</p> <p>○小中連携(本校体育大会における吹奏楽部のマーチング等)</p> <p>○6年生が中学校に出向き、クラブ活動や授業を見学する。また、中学の生徒会に小学校に来てもらい、学校の様子を説明してもらう。</p>	<p>(1)児童生徒支援</p> <p>(2)教員指導力向上支援</p> <p>(3)地域人材活用支援</p> <p>(4)学習習慣支援</p> <p>(5)その他</p>	<p>○放課後学習・・・3、4年生対象 基礎型(月)週1×30回 活用型(水)週1×30回</p> <p>○校内授業研究における指導・助言、模範授業における指導。 (同志社国際学院初等部 仲里 靖雄 先生)</p> <p>○校内研修 (神戸学院大学 糟谷 佐紀准教授他)</p> <p>○読み聞かせボランティア 1回×10人</p> <p>○マイノート検定印作成(3個)</p> <p>○家庭学習がんばりカードの作成(226人)</p>	<p>○「内読」の実施による読書力の向上を図る。</p> <p>○「家庭学習がんばりカード」を活用し、保護者の協力を得ながら、学習習慣の定着を図る。</p> <p>○開かれた学校をめざし、学校通信発行(月2回)やホームページの更新(月4回)を目標とする。</p> <p>○学校行事等に積極的に参加して頂き、学校の状況等の理解・協力を得る。</p> <p>○PTA・地域ボランティアや登下校見守りに対し、感謝の心を指導する。</p> <p>○オープンスクール授業予定の事前配布を実施する。</p>